



ゼロ (Start!!)

須賀川市立仁井田中学校
学校通信 No.45
発行者：校長 中瀬 宏昭

第2回 (第11回) 校内授業研究会を行いました!

11月24日(木)に須賀川市学校教育アドバイザーを講師にお迎えし(2回目)、11回目の校内授業研究を行いました。

今回の授業は、1年生の数学で「関数」の学習が行われました。長方形上の点P(動点)が3辺をXcm移動したときに作られる三角形の面積Ycm²を関数で求めたり、グラフで表したりする課題に取り組みました。

生徒は4人のグループになって、全員が「ん〜???」と思考を重ね、「これではどう?」「別の方法考えたんだけど?」「あっ、そうか!」など、徐々に課題をクリアしていきました。

今回、特定非営利活動法人がカンボジアに設立した Vice Principal of SALASUSU school より、校長先生と教頭先生が本校の取組を見学されました。東京大学在学中に法人を立ち上げ、アジアの政情が不安定な地域への人的支援と教育活動の普及のために取り組まれ、学校設立後、20年以上現地で生活されているそうです。

須賀川市のアドバイザーは海外の学校への指導も行っており、この度の来校が実現しました。校長先生からは、「先生方が個別指導を行っているときに他の生徒が静かに課題に取り組んでいる姿が素晴らしい」、「一斉授業が少なく、グループで学習に取り組んでいる授業が多い。チャレンジャーですね!」という感想をいただきました。



私達が目指すグループ学習とは?

授業後の研究協議では、アドバイザーから様々なご指導をいただきましたが「グループ学習」について大切なご示唆をいただきました。

- ①話し合い学習
 - ②教え合い学習 (ミニ先生学習)
 - ③出歩き学習 (好きな人に聞きに行く)
 - ④発表学習 (子どもの発表が中心の授業)
 - ⑤分担学習 (リーダーがいたり、役割が分かれていたり)
 - ⑥みんなで一つのものを作る学習 (みんなで解く等を含む)
 - ⑦従来型班学習 (まず一人で考えて話し合ってから発表)
- ①主体的・対話的・深い学びの(4人グループの座席を使った)学習

左にある①~⑦と①のグループ学習の違いは何か? この問いはとても大切です。つまり、①~⑦の活動は、一斉授業でも

活躍できる生徒ができる学習形態であり、「仲間・人から学ぶ」学習です。しかしながら、この学習活動は、上位生徒が主体になり、上下関係が生まれ、結果、インクルーシブ教育の理念が実現できません。

私達が(新学習指導要領も)目指すグループ学習①は「**教材から学ぶことを仲間と支え合いながら学ぶ学習**」であり、「**学級の全員が学ぶことができるグループ学習**」です。そのためには4人でできる教材の準備や全員が共通に取り組める課題づくり、生徒の学びの姿を見取る力が大切です。これら「**全ての生徒が50分学び続ける授業**」づくりに向けて今後も研究を続けていきたいと考えています。

